

ハネウェル社の事例

THOMSON INNOVATIONと知的財産管理ソリューションの相互効果

Honeywell

ハネウェル社は、航空宇宙産業、制御技術、自動車部品、ターボチャージャー、特殊化学、先端材料などの各分野で先端技術と生産をリードしているグローバル企業です。

ハネウェル社の知的財産ポートフォリオは事業内容と同様に広範囲に渡っており、更には買収、売却、ライセンスなどを活発に行っていることから、非常に複雑な構成になっています。

そのため、調査、追跡、管理、収益化を一元管理し、所有している知的財産をグローバル市場で効果的に活用するためのソリューションが必要でした。そこでハネウェル社が選択したのは、トムソン・ロイターのThomson IP ManagerとThomson Innovationでした。

ハネウェル社における知的財産は、各事業分野でのスムーズな活動を保証するための権利だけではなく、研究開発の促進、収益の向上、様々な事業戦略をサポートする役割も担っています。しかしハネウェル社の知的財産管理は世界各国でそれぞれに行われており、開発や特許出願の際に、優先順位を調整しなければならないこともありました。(1)知的財産を一元管理できるだけでなく、(2)世界中の担当者が同時にアクセスしてリアルタイムの情報を共有でき、(3)世界各国で進行しているプロジェクトと同期しながら知的財産保護を行えるシステムが必要不可欠だったのは言うまでもありません。

ハネウェル社の知的財産担当顧問弁護士、David Hoiriis氏はこう述べています。

「当社のように世界中に拠点を持つ大組織では、ある技術開発が複数の場所で同時に進行するような事態も起こります。トムソン・ロイターが提供しているシステムを効果的に使いこなすことによって、組織内のどこで何が進行しているのか、また効率的な技術開発のために社内のどのチームの協力が必要か、などの情報を得ることができるようになりました。」



David Hoiriis
ハネウェル社

「トムソン・ロイターのサービスは、ハネウェル社のイノベーションを強力にサポートしています。ハネウェル社では、20,000人以上のエンジニアがいつでも利用できるように、Thomson Innovationを社内イントラネットに組み込んでいます。エンジニア自身がデータを取得・分析して研究開発にどのように活かせるか検討し、特許専門の弁護士とより深い議論を持つこともできるようになっています。」

David Hoiriis、ハネウェル社、知的財産担当顧問弁護士

ハネウェル社は、知的財産の管理にThomson IP Managerを活用しています。IP Managerによって、13,000件以上のハネウェル社の特許はもちろん、世界各国で保有するそれ以外の知的財産の管理が可能になりました。このシステム上では、買収による獲得、売却、ライセンス等の知的財産の管理も可能です。「新規の特許出願、失効または放棄、買収による獲得・売却や、ライセンス案件など、全てをIP Managerで一元管理しています」



THOMSON REUTERS™

買収や統廃合の結果、ハネウェル社は様々に異なる名前の特許を多数所有しています。そのため、既存の特許検索システムではハネウェル社が所有する特許を漏れなく検索することは不可能でした。

Thomson IP ManagerとThomson Innovationの結合により、作業効率と正確な情報の共有を飛躍的に向上させ、ハネウェル社のニーズを満たすソリューションを実現できたのです。20,000人以上の研究開発チームが協力し合い、技術情報を共有しながら効率良く意思決定をし、相互に接続されたシステムを介在して活発に情報交換を行っています。

ハネウェル社の知的財産ポートフォリオ情報がThomson Innovationに入ってくると、それらは事業部ごとに分類された階層フォルダーに表示され、Thomson Innovation上で検索・分析できるようになります。従業員はそれぞれに必要なアクセス権を持ち、ライセンス状況など、システム上でリアルタイムに表示される個々の知的財産の詳細を確認することができます。

Thomson Innovationのカスタムフィールドを活用して、ハネウェル社は20,000人以上の従業員に対して知的財産ポートフォリオを公開しています。中には検索は行わず、それぞれの特許がどのビジネスと関連しているかの確認や、他のチームの研究開発状況の把握に利用している従業員もいます。

Hoiriis氏はこう言います。「トムソン・ロイターのサービスは、ハネウェル社のイノベーション促進を強力にサポートしています。ハネウェル社では、20,000人以上のエンジニアがいつでも利用できるように、Thomson Innovationを社内イントラネットに組込んでいます。エンジニア自身がデータを取得・分析して研究開発にどのように活かせるか検討し、特許専門の弁護士とより深い議論を持つこともできるようになっています。」

全体は部分の総和に勝る、といます。

ハネウェル社では知的財産管理を検索や分析システムと統合することによって、個々のシステムをそれぞれに使うよりも強力なソリューションを生み出すことができました。Thomson IP Managerが管理する包括的で正確なポートフォリオと、Thomson Innovationのインポート、共有、分析とタグ付機能によって、ハネウェル社は所有する知的財産を最大活用でき、また多数の事業部の業務を効率的に管理するだけでなく、情報共有の促進を実現したのです。

特許取得にはチームワークが必要です。

特許取得のプロセスは、かつて法務部が単独で担当していた時代から大きく変わりました。現在では研究開発、エンジニアリング、製品開発、その他の部署が知的財産関連の作業とそれぞれ密接に結びついています。トムソン・ロイターのシステムが提供する見やすいインターフェースとソリューションによって、ハネウェル社は特許ポートフォリオを全事業部所に横断的に共有することができ、イノベーションを促進させ、異なる部署間のコミュニケーションを円滑にすることが可能になりました。

トムソン・ロイターは、全ての知的財産と調査プロセスを連結させ文字通りワン・ストップ・ショップを実現することにより、ハネウェル社の知的財産部のパフォーマンスを最大化しました。Thomson IP ManagerとThomson Innovationの連携により、知的財産の入力、追跡、管理と調査、コラボレーションと評価が可能になったのです。

詳しい情報は ip-science.thomsonreuters.jp をご覧ください。

お問合せ先

トムソン・ロイター
IPソリューションズ

〒107-6119

東京都港区赤坂5丁目2番20号赤坂パークビル19階

Tel : 03-4589-3101

Fax : 03-4589-3240

ts.info.jp@thomsonreuters.com

ip-science.thomsonreuters.jp

1002916-JP

Copyright © 2013 Thomson Reuters 06/2013



THOMSON REUTERS™